

別紙 5 組合実績等

(1) 年度別搬入（処理）量実績

年度	し尿 搬入量 (kL)	浄化槽汚泥 搬入量 (kL)	合計搬入量 (kL)
令和 3 年	9,005.92	8,896.44	17,902.36
令和 4 年	9,000.05	8,447.22	17,447.27
令和 5 年	8,369.93	8,618.01	16,987.94
3～5 平均	8,791.97	8,653.89	17,445.86

(2) 薬品使用量実績

年度	ポリテツ G (kg)	苛性ソーダ (kg)	メチル アルコール (kg)	消泡剤 (kg)	ポリマー (kg)
令和 3 年	150,610	95,580	2,260	784	300
令和 4 年	171,160	104,610	1,760	992	420
令和 5 年	179,580	120,720	2,240	924	520
3～5 平均	167,117	106,970	2,087	900	413

年度	次亜塩素酸 ソーダ (kg)	活性炭 (再生炭) (kg)	消臭剤 (kg)	栄養剤 (kg)	硫酸 (kg)
令和 3 年	990	0	0	0	0
令和 4 年	0	4,800	0	0	0
令和 5 年	1,170	9,600	0	60	0
3～5 平均	1,080	7,200	0	60	0

※平均は0を除くものとする

(3) 用役使用量（使用料）実績

年度	軽油 (L)	ガス (m ³)	ガソリン (L)	A 重油 (L)	灯油 (L)	混合油 (L)
令和 3 年	2,532.50	23.9	60.0	0.0	1,353.0	0
令和 4 年	1,949.21	35.4	140.0	200.0	1,805.0	20.0
令和 5 年	2,080.71	39.2	98.0	0.0	1,936.0	20.0
3～5 平均	2,187.47	32.8	99.3	200.0	1,698.0	20.0

年度	電気使用量 (kwh)
令和 3 年	957, 437
令和 4 年	945, 786
令和 5 年	954, 387
3 ～ 5 平均	952, 537

年度	消耗品 (円)	その他 (役務・賃借料・ 原材料等) (円)
平成 30 年	3, 734, 540	1, 259, 862
令和元年	4, 306, 268	2, 005, 913
令和 2 年	6, 459, 103	5, 731, 837
令和 3 年	2, 464, 274	8, 727, 134
30～3 平均	4, 241, 046	4, 431, 186

※上記使用料については消費税及び地方消費税の額を含む

(4) 設計基準

設計基準は次のとおりとすること。

① 薬品費

“(5) 年間基準額” に定める金額により設計すること。なお、運転に支障のない範囲で、事前に当組合と協議の上、薬品種類等を変更することは構わない。

薬品想定使用量

ポリテツ 180, 000kg/年

苛性ソーダ 120, 000kg/年

メチルアルコール (50%) 4, 600/年

消泡剤 1, 000kg/年

ポリマー 500kg/年

次亜塩素酸ソーダ 1, 200kg/年

活性炭 (新炭又は再生炭) 5, 000kg/年

※ “別紙 8 活性炭再生業務” に定める再生減量を補充する。再生炭を使用する場合は別紙 8 の規格を満たすものであること。

消臭剤（エバデオール） 200kg/年

栄養剤（エアロシード） 100kg/年

硫酸 400kg/年

② 燃料費

令和３年から令和５年の平均使用量を目途に設計すること。

③ 電気

“（５）年間基準額” に定める金額により設計すること。

④ 消耗品費

平成３０年から令和３年の平均使用量を目途に物価上昇等を考慮し、設計すること。

⑤ 修繕費

“別紙16 修繕業務” に定める金額により設計すること。

⑥ その他（役務、原材料費、使用料及び賃借料）

平成３０年から令和３年の平均使用量を目途に物価上昇等を考慮し、設計すること。

※主な項目ごとの内容

・役務

車両保険、電話使用料、インターネット使用料

・使用料及び賃借料

“別紙８ 施設運転管理業務” 第２条 ５）（２）⑫各種水槽の清掃で使用するダンパー車等の借上げ料、⑬薬品タンク（ポリ鉄タンク）の清掃費用

・原材料費

ポンプ・ブロワー・電気計装等の部品、バルブ類

（５）年間基準額

“別紙７ 運転管理業務” 中に定めるユーティリティー費の精算に係る年間基準額は下記のとおりとする。

電 気 25,600,000円（消費税及び地方消費税の額を含む）

薬品費 27,000,000円（消費税及び地方消費税の額を含む）